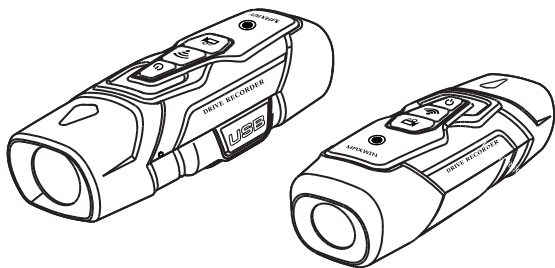


2カメラ同時録画 ドライブレコーダー/ウェアラブルカメラ 【取扱説明書】

BDVR-A001

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| ■安全上のご注意 | 1 |
| ■取付上のご注意 | 3 |
| ■使用上のご注意 | 4 |
| ■microSDカードについて | 6 |
| ■microSDカードについてのご注意 | 7 |
| ■内蔵充電バッテリーについて／本製品の防水性能について | 8 |
| ■無線LANに関する注意 | 9 |
| ■梱包内容の確認 | 10 |
| ■各部名称と働き | 11 |
| ■LEDランプ表示 | 13 |
| ■本機の充電 | 15 |
| ■microSDカードの挿入・取り出し | 16 |
| ■本機の取り付け | 17 |
| ■電源のON/OFF | 18 |
| ■microSDカードのフォーマット | 21 |
| ■日付と時刻について | 22 |
| ■録画方式 | 25 |
| ■省電力モード | 26 |
| ■Wi-Fi接続モード | 27 |
| ■専用アプリで再生する | 28 |
| ■汎用スマホアプリ「Road Cam」について | 29 |
| ■パソコンで再生する | 35 |
| ■よくある質問 | 38 |
| ■製品仕様 | 40 |
| ■ファームウェアについて | 41 |
| ■商品保証書 | 42 |

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はmicroUSB端子(電源供給)5V/1A専用です。
自転車、電動アシスト自転車、原付、バイク、電動キックボード、キックスクーター専用です。
上記以外の使用環境は想定していません。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。



注意

- 本機は、**運転時の状況を記録することが目的です。**
その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、**強い力やショックを与えることはしないでください。**
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、**素手で触らないでください。**
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、**ただちに使用を止めて電源をOFFして下さい。**
- 本機側面のゴムカバーを開けて専用アクセサリ以外の物は使用しないでください。
発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないで下さい。
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、**誤動作や故障の原因となります。**
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認して行ってください。
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。

安全上のご注意

- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいでください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。
- microUSBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- microUSBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因となります。
- microUSBケーブルを改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因となります。
- microUSBケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないで下さい。
火災、感電の原因となります。
- ご不要になった場合は、本機の側面(ゴムカバー)を開けた状態で塩水に2~3日つけて完全に放電させてから燃えないごみとして、廃棄してください。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用途中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 内蔵バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- Wi-Fi機能は汎用アプリ（フリーソフト）を使用して撮影画角の確認用として利用できます。スマートフォンの機種やAndroid、iOSなどのバージョンにより対応しないものがあります。当社は汎用アプリに関しては保証致しません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などで本機内蔵バッテリーが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.電源ボタンを長押しすると本体の電源がOFFになりますので、その後にmicroSDカードを抜いて大切に保管してください。

microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
 - ・microSDHCカード： 容量16～32GB、スピードクラス:CLASS10以上
 - ・microSDXCカード： 容量:64～128GB、スピードクラス:CLASS10以上※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカードについてのご注意

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

■カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

当社推奨microSDカード

容量:32GB
品番:SD-A32G



容量:64GB
品番:SD-A64G



容量:128GB
品番:SD-A128G



※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

内蔵充電式バッテリーについて

本機には1450mAhのバッテリー(リチウムポリマー)を内蔵しております。

充電回数はおよそ300回～500回です。

※利用や保管状態に応じて劣化致しますので、充電回数、動作時間に関わらず電池寿命は保証対象外です。電池特性に合った利用・保管方法をお願いいたします。

■本機を炎天下の屋外や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。バッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■本機が稼働している状態でなくても、バッテリーは自然放電してしまいます。バッテリー性能に限らず自然放電による、長期の内部電力量の担保には限界があります。購入後は速やかに、本機の充電をしてください。

※バッテリー満充電時の自然放電は目安は約2ヶ月ですが、保証値ではありません。

■過放電は電池寿命を縮め充電出来なくなる場合があります。電池切れの前に充電して下さい。

■本機を長時間使用しない場合は本体から充電ケーブルを外してください。

■本機を長時間使用しない場合はバッテリー残量を50%程度にしてから保管してください。

本製品の防水性能について

■ドライブレコーダー本体:

本製品のドライブレコーダー本体は、防水規格IPX4(生活防水)相当の仕様となっておりますが、雨天のご使用は、お勧めいたしません。早めに収納して下さい。

※防水性能は当社試験方法によるものです。

※防水性能は、前方からの雨を防ぐ構造になっています。緊急時に限り、10km/hのスピードで5分間の小雨を想定しています。本体の背面を水のある方向(場所)に設置しないで下さい。

※本体側面の保護ゴムキャップは取り外さないでください。

※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。

■充電用ケーブル:

本製品に付属する給電ケーブルおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

●本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

●本製品をご使用の際は、湿気や高温(50℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。









●洗車時には本製品を外して洗車してください。保管してください。

無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品のラベルには技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに「Wi-Fi」機能の設定をOFFに変更してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

梱包内容の確認

本機の梱包内容は以下の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 本体 | microUSBケーブル データ転送用 | microUSBケーブル 充電/給電用 |
|  |  |  |
| ブラケット ヘルメット装着用 | ブラケット ヘルメット装着用 | ブラケット ハンドル装着用 |
|  |  |  |
| 脱落防止ワイヤー | 取扱説明書保証書 | |
|  |  | |

各部名称と働き

本機の各部名称は以下の通りです。

■本体



- ①フロントカメラレンズ
- ②リアカメラレンズ
- ③電源ボタン
- ④WiFiボタン

- ⑤録画ボタン
- ⑥充電ランプ
- ⑦スピーカー
- ⑧固定ネジ(1/4インチ)

- ⑨マイク
- ⑩リセットボタン
- ⑪電源入力端子
- ⑫microSDスロット

各部名称と働き

- | | |
|----------------|--|
| ① フロントカメラレンズ | ※ご使用前に保護フィルムを剥がしてください。 |
| ② リアカメラレンズ | ※ご使用前に保護フィルムを剥がしてください。 |
| ③ 電源ボタン | ・電源OFF状態: 長押しで電源ONします。 ・電源ON状態: 長押しで電源OFFします。 |
| ④ Wi-Fiボタン | ・録画開始状態: 短押しで録画中のファイルを保護します。 ・録画停止状態: 短押しでWi-Fi機能をONにします。 再度短押しでWi-Fi機能をOFFにします。 ※Wi-Fi接続中は電源OFF以外のボタン操作ができません。 |
| ⑤ 録画ボタン | ・録画停止状態: 短押しで録画を開始します。 ・録画開始状態: 短押しで録画を停止します。 ・microSDカード異常状態: 5秒間長押しでmicroSDカードをフォーマットします。 |
| ⑥ 充電ランプ | ・充電中: 点灯。 ・満充電: 消灯。 |
| ⑦ スピーカー | 操作音や音声ガイダンスを出力します。 |
| ⑧ 固定ネジ(1/4インチ) | 取付スタンドへ。 |
| ⑨ マイク | 周囲の音声を録音します。 |
| ⑩ リセットボタン | 正しく動作しなくなった時に先の細いピンなどで押してください。 ※本体が再起動します。 |
| ⑪ microUSB端子 | microUSB給電(DC5V 1A)/データ通信ケーブルを接続します。 |
| ⑫ microSDスロット | microSDカードを挿入します。 |

LEDランプ表示

■LEDランプ表示について






LED1 LED2 LED3 LED4
電源ボタン Wi-Fiボタン 録画ボタン 充電ランプ

●電源ボタン(LED1)点灯パターン

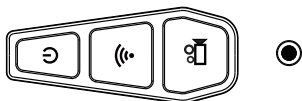
| 状 態 | LED表示 | 音声ガイダンス |
|------------------------------------|--|-----------|
| 内蔵バッテリー 残量5%~100% | 「消灯」 | — |
| 内蔵バッテリー残量5%以下 ※本体単独でフル充電してください。 | 「点灯」  | 「ローバッテリー」 |

●Wi-Fiボタン(LED2)点灯パターン

| 状 態 | LED表示 | 音声ガイダンス |
|---------------------------------|--|------------------|
| Wi-Fi機能OFF (スリープ状態) | 「消灯」 | — / 「Wi-Fi機能OFF」 |
| Wi-Fi機能ON(接続待機中) ※録画が一時停止状態。 | 「点滅」  | 「Wi-Fi機能ON」 |
| Wi-Fi機能ON (接続完了) | 「点灯」  | 「Wi-Fi接続しました」 |
| ファームウェア更新中 | 「高速点滅」  | — |

LEDランプ表示

■LEDランプ表示について



LED1 LED2 LED3 LED4
電源ボタン Wi-Fiボタン 録画ボタン 充電ランプ

●録画ボタン(LED3)点灯パターン

| 状態 | LED表示 | 音声ガイダンス |
|-----------------------|--|-----------------|
| 電源ON (録画停止中) | 「点灯」  | 「ピーピーピー」 |
| 録画中 | 「点滅」  | 「録画を開始します」 |
| microSDカード の異常 | 「点灯」  | 「SDカードをご確認ください」 |
| microSDカード フォーマット中 | 「高速点滅」  | 「フォーマット開始します」 |

●充電ランプ(LED4)点灯パターン

| 状態 | LED表示 | 音声ガイダンス |
|----------------|--|---------|
| 内蔵バッテリー 充電中 | 「点灯」  | — |
| 内蔵バッテリー 満充電 | 「消灯」 | — |

本機の充電

本製品を初めてご使用になる際は、以下の手順で本体の内蔵バッテリーをフル充電してください。

※内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、車両などから電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。以降も定期的に本体の充電を行なってください。

※このとき、本機にmicroSDカードを挿入する必要はありません。

- [1] 本機と付属のmicroUSBケーブル、市販のACアダプタ（定格出力5V-1.0A以上）を用意します。
- [2] 本機の電源がOFFになっていることを確認します。
- [3] 本機左側のキャップを外します。
- [4] 付属のmicroUSBケーブルを使用して、本体と市販のACアダプタを接続し、ご家庭のコンセントに接続します。

※microUSBケーブルを本体に挿入する際は、ケーブル端子の向きを間違えないでください。本体およびケーブルのUSB端子が変形/破損する原因となります。

充電中は、充電ランプが赤色に点灯します。バッテリーLEDランプが消したら充電完了です。

- [5] 充電が完了したら、ACアダプタから本体を取り外してください。



ご注意

- 付属のmicroUSBケーブルの端子 (microUSB Type-B) には挿入向きがあります。本機に挿入する際は、ケーブル端子の向きを間違えないでください。また、ケーブル端子は、嵌合が固めです。抜き差しする際は十分ご注意ください。端子部に無理な力が加わると、本体およびケーブルのUSB端子部が変形/破損する原因となります。
- SDカード挿入状態で充電する際は、ご家庭のコンセントに接続後、必ず本体の電源をOFFにして行ってください。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタから本機を取り外してください。コンセントに接続したまま放置すると、内蔵バッテリーの劣化の原因となります。

microSDカードの挿入・取り出し

■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.本体左側のキャップを外してから、メモリーカードの印字面を裏にして挿入する



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする
 - 2.本機左側のキャップを外してから、メモリーカードを押して、カードが飛び出たら引き抜く
- ※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



ご注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行なわないでください。無理な力が加わるとmicroSDカードスロットが破損します。

本機の取り付け

本製品は多様な使い方ができ、それぞれ使用部品/取り付け方法が異なります。

■ヘルメットに取り付け

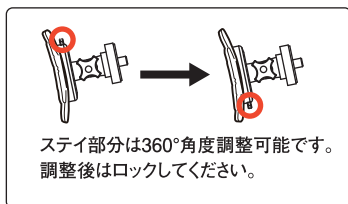
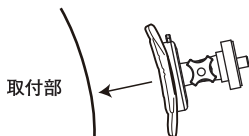
1.推奨取り付け位置

本機は、ヘルメット上下左右どこにも取付けられます。お客様のご使用用途により任意の場所に取付けて下さい。

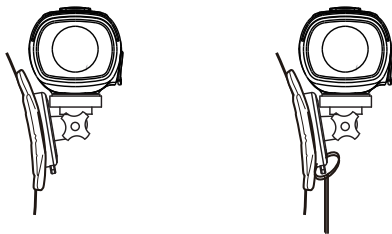
※取り付けの際は、本機底部(取付ネジ部)が下側になるように取り付けてください。

●取付方法について

- ①本機とブラケットを一度組み合わせ、ヘルメットに添わせて位置を確認して下さい。
※この時点では両面テープの保護シートは剥がさないで下さい。
※ブラケットの向きによって撮影する角度調整を変えられます。
- ②ブラケット裏面の両面テープで保護シートを剥がしヘルメットに貼り付けます。



- ③本機をまっすぐ前へ向けて、本機底部のネジを利用して取り付けてください。
- ④脱落防止ワイヤーを結合させます。



本機の取り付け

サイクリング用のヘルメットなど、通気孔が並列に2箇所以上あるヘルメットは、下記のブラケットをご利用ください。

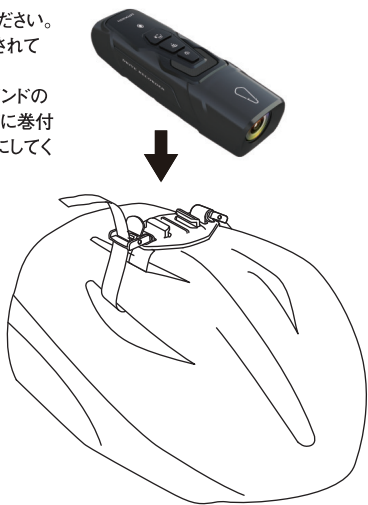
2. 推奨取り付け位置

ヘルメットの穴にバンドをくぐらせて、バックルにバンドを通してからバックルでバンドを留めます。

※両端のバンドとも同様に取り付けてください。

※バンドにゆるみがなく、しっかりと固定されていることを確認してください。

また、バンドの長さが余った場合は、バンドの先をヘルメットの中に入れて、バンドに巻付けたりするなどし、邪魔にならないようにしてください。



● 取外し方法について

外す際は取り付けと逆手順でネジを緩めてから本機を外してください。

ご注意

前方を遮ることがないように取り付けてください。

貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。

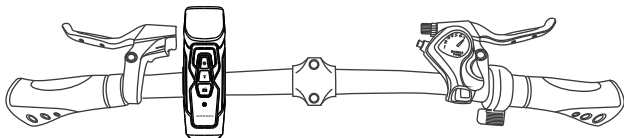
落下事故防止のため、付属のワイヤーを必ず取り付けてください。

映像が傾いていた場合は本機の位置を調整して下さい。

本機の取り付け

■ハンドルに取り付け

1.推奨取り付け位置



※左右どちら側でも取付ける場所は必ず運転の支障にならない場所に取付けてください。

●取付方法について

- ①付属のハンドル用取付ブラケットをハンドルバーにしっかり固定してください。
- ②本機底部のネジ穴凹部分をブラケット上部の凸部分に差し込み、本機をまっすぐ前へ向けてをしっかりと固定します。
※汎用アプリ「RoadCam」で映像確認しながら角度を調整することをおすすめします。
- ③ハンドルを左右にきってカメラが接触する部分がないか、運転操作に影響がでないか確認してください。
各部を点検し、異常がなければ作業は終了です。

●取外し方法について

外す際は取付ブラケットから本機を回して外してください。

万が一のために使用後は、本体を車両から外して管理していただくことをおすすめいたします。

ご注意

作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所で車両の転倒やケガなどに十分注意して作業を行なってください。

取り付けの際は、本機底部（取付ネジ部）が下側になるように取り付けてください。

落下防止ワイヤの片端を利用して、取付ブラケットとバイクや自転車の車体に結合してください。

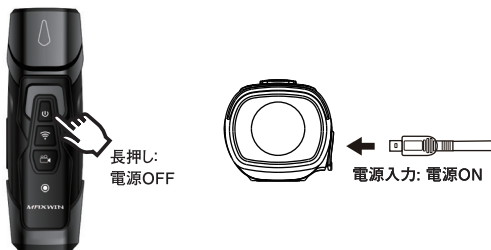
角度調整は、安全な場所で停車してからして下さい。

走行中には絶対に行わないで下さい。

電源のON/OFF

電源ON(録画を開始する)

電源ボタンを長押し(3秒以上)すると本機が電源ONになり、録画を開始します。
また、本機は外部電源入力に連動して電源ONになります。



ご注意

microSDカード未挿入の場合は、自動的に電源OFFに切り替わります。
microSDカード異常の場合は、10秒後に自動的に電源OFFに切り替わります。

電源OFF(録画を終了する)

録画中に電源ボタンを長押し(3秒以上)すると録画を終了し、本機が電源OFFになります。
また、省電力モード設定(P.28参照:定期的にシャットダウンする)によって、内蔵バッテリー駆動中に無振動の状態が所定時間(10分/20分/30分)以上続くと、自動で電源がOFFになります。



microSDカードのフォーマット

本製品ではじめて使用されるmicroSDカードは、必ず本製品でフォーマットを行なってください。また、microSDカードは消耗品のため、定期的にフォーマットまたは新品に交換してください。

●異常状態のmicroSDカードをフォーマットする

microSDカード異常の場合は、「SDカードをご確認ください。」の音声ガイダンスが繰り返します。

録画ボタンを約10秒長押しすると、フォーマットが開始します。

microSDカードフォーマット中、録画ボタンLED（緑色）が高速点滅します。

少しすると録画ボタンLED（緑色）が低速点滅へ変わり、フォーマット完了です。

※フォーマットが完了すると、自動的に録画を開始します。



●認識済のmicroSDカードをフォーマットする

汎用APP「RoadCam」を利用してmicroSDカードをフォーマットしてください。

(P.28参照:レコーダーのフォーマット)

ご注意

microSDカードは1～2週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SDカードを交換してください。

microSDカードの寿命は概ね3ヶ月から1年程度です。

ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)によりmicroSDカードの寿命は変動します。

日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画ファイルや写真ファイルのファイル名として反映されます。

(P.32参照)また再生画面では記録した時刻が表示されます。

日付と時刻はスマートフォンやタブレットなどにWi-Fi(無線LAN)を接続すると、自動的に同期されます。



録画方式

本機は、録画ボタン操作による手動録画と、DC5V入力による自動録画ができます。
録画方式は、「常時録画」、「緊急録画(衝撃・手動)」、「タイムラプス録画」の3つがあります。

■常時録画(ループ録画)

本機は電源がONになっている間の映像を録画することができます。
設定により、1分/3分/5分と録画時間を設定できます。

《例》録画時間を1分に設定



記録した映像ファイルは「MOVIE」フォルダに保存します。
「MOVIE」フォルダはmicroSDカード全体容量の60%を上限にされ、常時録画領域がいっぱいになると、古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

●録画を開始する

microSDカード挿入後、電源入力がありましたら本機がONになり、自動的に常時録画が始まります。

※また、録画停止状態で、録画ボタンを短押しすると、録画が開始します。



電源入力: 電源ON
(同時に録画開始)



録画停止状態で
短押し: 録画開始

●録画を停止する

電源OFFと同時に録画が終了します。

また、録画中に録画ボタンを短押しすると、録画を停止することができます。



長押し: 電源OFF
(同時に録画停止)



録画開始状態で
短押し: 録画停止

録画方式

■緊急録画(衝撃・手動)

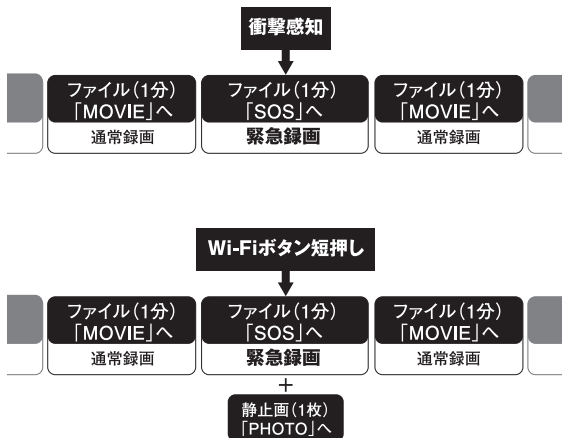
録画中にGセンサーが衝撃を感知すると、緊急録画モードが開始します。

また、録画中にWi-Fiボタンを短押すことも緊急録画モードが開始します。

※ Wi-Fiボタンで手動緊急録画する場合は、同時に静止画の撮影(1枚)も行います。

※ 録画停止状態では、衝撃を検知しても緊急録画モードが開始しません。

《例》録画時間を1分に設定



録画中の映像データは保護ファイルとして、「SOS」フォルダに保存します。

「SOS」フォルダはmicroSDカード全体容量の40%を上限にされます。

頻繁に衝撃を受け、緊急録画領域がいっぱいになると、古い緊急録画ファイルから新しい緊急録画ファイルに上書き録画されていきます。

録画方式

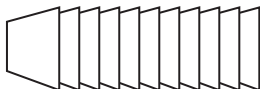
■タイムラプス録画

1秒ごとに1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の記録が行えます。

また短い動画に圧縮して保存することでバッテリー使用容量を抑え、より長時間の録画が可能になります。(P.28参照:Timelapse time)

《例》

通常録画



1秒間に30枚撮影
(30fps)

タイムラプス録画



1秒間に1枚撮影
(1fps)

記録した映像ファイルは「MOVIE」フォルダに保存します。

「MOVIE」フォルダはmicroSDカード全体容量の60%を上限にされ、常時録画領域がいっぱいになると、古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

ご注意

- 通常録画ファイルおよび緊急録画ファイルはmicroSDカード容量上限に達すると、古いファイルを上書きして新しいファイルを保存します。時間の経過とともに古いファイルが消去されますので、あらかじめ大切なデータはパソコンへコピーして保存してください。
- 緊急録画を手動で停止させた場合、自動的に通常録画には切り替わりません。手動で録画を停止させた場合は、再度 録画ボタン を押して通常録画を開始してください。
- 衝撃感知設定によっては、道路の段差やドアの開閉等で頻繁にセンサーが感知する場合がありますので、汎用スマホアプリ「RoadCam」を利用して本機のGセンサー値を調整、もしくは OFF にしてください。
- Wi-Fi接続状態では、Wi-Fiボタンと電源ボタン以外のボタン操作はできません。
- 緊急録画中に再度衝撃を感知しても延長して緊急録画は行いません。

省電力モード

本機は、内蔵バッテリーのみ駆動中に無振動の状態が一定の時間以上続くと、省電力モードによる電源遮断する機能があります。

※: 省電力モードの初期設定値: 10分

※: 本機の充電中やパソコンとのPCモード接続時は、省エネモードのは動作しません。

省電力モード設定ON/OFFは、汎用アプリ「RoadCam」にて変更できます。

設定値:(機能OFF/10分/20分/30分)

(P.28参照:定期的にシャットダウンする)

Wi-Fi接続モード

●Wi-Fi接続モードON

録画を停止してから、Wi-Fiボタンを短押しすると、Wi-Fi接続モードをONすることができます。



●Wi-Fi接続モードOFF

Wi-Fi接続中にWi-Fiボタンを短押しすると、Wi-Fi接続モードをOFFすることができます。また、電源OFFと同時にWi-Fi接続モードが終了します。



ご注意

- Wi-Fi接続が終了しても、自動的に録画が開始されませんので、ご注意ください。
- Wi-Fi接続モード中は、電源ボタン以外のボタン操作が出来ませんので、ご注意ください。
- Wi-Fiパスワードの再設定をしてください。

専用アプリで再生する

「Road Cam」を使用し、スマートフォンと本機をWi-Fi接続することにより、本機で記録された録画ファイルをスマートフォンにて再生することができます。

1. アプリのインストール

「Road Cam」をスマートフォンにインストールします。
iPhone は「App Store」、Android は「Google Play」
から「Road Cam」をインストールします。



2. Wi-Fi接続モードをONする

本機の録画を停止してから、Wi-Fiボタンを短押し、
Wi-Fi接続モードをONにします。
音声ガイダンス「Wi-Fi接続しました」を確認したら
Wi-Fi接続モードがON状態になります。



録画停止状態で
短押し：
Wi-Fi接続モードON

3. スマートフォンに接続する

お使いのスマートフォンを本機のWi-Fiに接続します。
接続方法はスマートフォンの取扱説明書にそってWi-Fi
接続を行ってください。

※本機のWi-Fiは「BDVR-A001-」から始まる
ネットワーク名で表示されます。

パスワード「12345678」で接続します。

※録画中は、本機のWi-Fiに接続できません。



【1】「Road Cam」アプリを起動



【2】中央のカメラアイコンをタッチ Wi-Fi接続完了

※これ以降の操作画面はAndroidの画面になります。お使いのスマートフォンによって画面表示が異なる場合がございます。予めご了承ください。

汎用スマホアプリ「RoadCam」について

「Road Cam」アプリで記録したデータファイルを再生確認・保存・削除ができます。

各部名称

Wi-Fi接続完了と同時に録画画面に接続されます。



① 切断する

本機とスマートフォンとのWi-Fi接続OFF

② 設定

本機の各種設定

③ 録画時間

録画時間の表示

④ Stop

録画を停止

⑤ レコーダービデオ

撮影した動画データの一覧へ

⑥ カメラ切替

フロント・リアのカメラ切替

⑦ ピクチャ

撮影した静止画データの一覧へ

⑧ 写真を撮る

録画中の画面を撮る

ご注意

Road Camアプリは汎用品の為、日本語の言語表記が、一部おかしい場合がございます。予めご了承ください。本体設定は一部しかできません。予めご了承ください。

汎用品の為、アプリのサービスの仕様内容などに変更がある場合がございます。予めご了承ください。

設定について

本機の各種設定が行えます。

| 項目 | 設定値(★:初期設定値) | 説明 |
|----------------|-------------------------------|---|
| Wi-Fi接続パスワード | PW: | Wi-Fi接続のパスワードを変更できます。 ※PW初期値:12345678 |
| マイクロフォン | オフ / オン(★) | 録画時に音声を含めるかどうかを設定します。 ※ONにすると再生時に走行時の風切り音が聞こえますが、異常ではありません。 |
| ビデオ透かし入れ時間 | オフ / オン(★) | ファイルに日時を入れるかどうかを設定します。 ※日付と時間は、Wi-Fi接続時にスマートフォンを通じて自動的に取得されます。 |
| 記録された録画 | オフ / 1分 / 3分 / 5分(★) | 通常録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。 ※「オフ」は、5分ごとに動画ファイルを作成し、SDカードの容量(録画領域)がいっぱいになると録画が自動的に停止します。 |
| 露出補正 | +2.0 ~ 0.0(★) ~ -2.0 | 露出の設定を行います。 |
| Timelapse time | オフ(★) / オン | タイムラプス録画機能をする・しないを設定します。 |
| 定期的にシャットダウンする | オフ / 10MIN(★) / 20MIN / 30MIN | 内蔵バッテリーで駆動する場合の省電力機能、設定した時間内に振動がないと自動的に電源オフします。 |
| 衝突感受性 | オフ / ロー(★) / ミディアム / ハイ | Gセンサーによる衝撃感度を設定します。 |
| ビデオ解像度 | 2K / 1080P(★) / 720P / VGA | 録画映像の解像度を設定します。 2K: フロント1440P+リア1080P @27.5fps 1080P: フロント1080P+リア1080P @27.5fps 720P: フロント720P+リア720P @30fps VGA: フロント480P+リア480P @30fps |
| レコーダーのフォーマット | 実行 / キャンセル | microSDカードをフォーマット(初期化)します。 ※フォーマットする前に重要なデータをパソコンにバックアップしてください。 |
| ファームウェアバージョン | - | 本機のバージョンを表示します。 |
| 工場出荷時設定に戻す | 実行 / キャンセル | 出荷時の設定にリセットします。 |

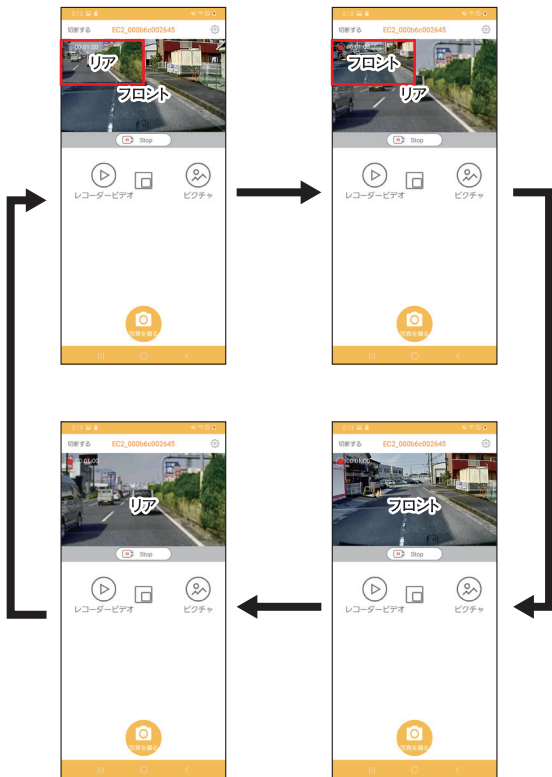
ご注意

- 本機を長期間使用しなかった場合、各種設定が初期値に戻る場合があります。
- 設定変更は必ず安全な場所に停車して行ってください。

汎用スマホアプリ「RoadCam」について

カメラ切替(縦向きの場合)

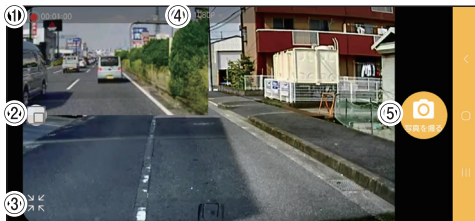
⑥カメラ切替アイコンを押すと切り替わります。



汎用スマホアプリ「RoadCam」について

カメラ切替(横向きの場合)

②カメラ切替アイコンを押すと切り替わります。



① 録画時間

録画時間の表示

③ 画面切替

縦横表示画面を切替

② カメラ切替

フロント・リアのカメラ切替

④ 解像度

録画中の解像度

⑤ 写真を撮る

録画中の画面を撮る

汎用スマホアプリ「RoadCam」について

データ一覧・データ保存・削除(動画・静止画も同様)

右上の選択するを押すとデータを複数選択することができます。

または、保存・削除がしたいデータを長押しすると選択画面に切り替わります。



① ダウンロード

スマートフォンに選択したデータを保存

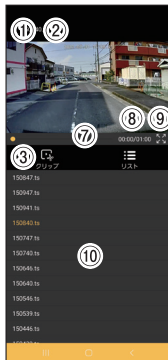
② ゴミ箱

選択したデータをmicroSDカードから削除

汎用スマホアプリ「RoadCam」について

動画ファイル再生

一覧から再生したいファイルを押すと、動画ファイルが再生されます。



① 戻る

前の画面に戻る

⑥ 次へ

次の動画へ移動

② 動画ファイル名

再生中の動画ファイル名

⑦ スクロールバー

再生動画ファイルのスクロールバー

③ クリップ

再生動画の画面をクリップして切り抜く

⑧ 再生時間

動画ファイルの再生時間

④ 前へ

前の動画へ移動

⑨ 画面切替

縦横表示画面を切替

⑤ 再生

動画ファイルを再生

⑩ 一覧リスト

動画ファイル一覧

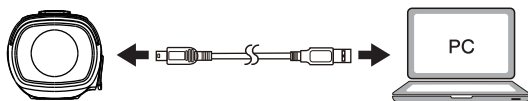
パソコンで再生する

スマートフォンアプリ「RoadCam」以外に、パソコンにてデータを確認する方法は2種類（microSDカード / USB ケーブル）あります。

microSDカード：microSDカードを本体から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンで再生します。



USBケーブル：本体とパソコンをmicroUSB電源ケーブルでつなぎ、本機の電源ボタンを押し電源を入れると、パソコンにUSBディスクが表示されます。



※本機は自動的に電源が入ります。

※このとき本機が録画停止状態となります。

※パソコンにはリムーバブルディスクとして認識されます。

パソコンの動作環境

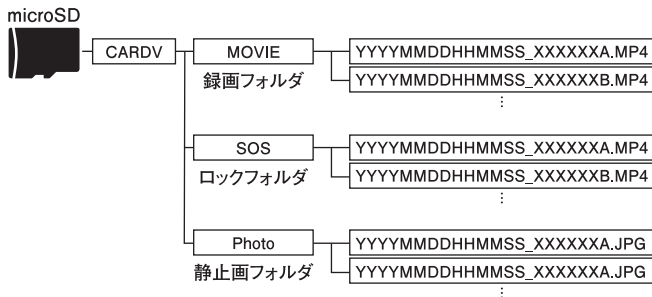
- ・Windows 8.1/10 (32/64bit)がインストールされたパソコン。
- ・Windows Media Player、QuickTime等のMP4(H.264) 動画再生ソフトがインストールされていること。
- ・USB2.0インターフェースもしくは microSD/SDHCカードリーダーを備えていること。
- ・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

パソコンで再生する

フォルダ構成

microSDカードに常時録画・緊急録画・静止画ファイルが保存される際、それぞれの専用フォルダが作成され、以下のような構成になります。

※データ種別により保存されるフォルダが異なります。



ファイル名

ファイル名は録画(撮影)した年月日、時分秒、ファイル番号の組み合わせで作成します。

フロントカメラ映像とリアカメラ映像はファイル名が異なります。

また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

■ファイル表示例

20210721142052_000001A.MP4

年、月、日

時、分、秒

ファイル番号

拡張子(動画)

※静止画ファイルの場合、
拡張子は「.JPG」となります。

A: フロントカメラの映像

B: リアカメラの映像

※ご注意:フロント映像とリア映像のファイル間で秒数値が1秒ほど異なる場合があります。

※パソコンによって拡張子は表示しない場合があります。

パソコンで再生する

再生画面について

日付ラベルの設定ONの場合は、再生画面の左下隅に自動的日時情報が表示されます。日付ラベルのON/OFFは汎用アプリ「RoadCam」にて設定してください。(P.28参照:ビデオ透かし入れ時間)



ご注意

- ※具体的なパソコンでの操作については、パソコンメーカー、ソフトメーカーにお問い合わせ下さい。
- ※弊社では、パソコンの動作についてのサポートは一切いたしません。

よくあるご質問

| ご質問 | 回答 |
|-----------------------------|--|
| 電源が入らない、動作しない、動作が不安定 | <p>●充電が十分にされていか確認してください。 ⇒内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、外部から電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。定期的に本体の充電を行なってください。</p> <p>●本体が高温(50℃以上)になっていませんか？ ⇒microSD カードへの書き込みエラー発生時や外部環境要因などにより、本体が高温(50℃以上)になると、動作を停止する場合があります。本体の温度が下がってから使用してください。</p> <p>●システムエラーの可能性もあります。 ⇒リセットボタンを押して本体を再起動してください。</p> |
| 録画ボタンを押しても、ランプが点滅しない | microSDカード未挿入、または読み込みができてない可能性があります。microSDカードをご確認し、フォーマットしてください。 |
| 記録が出来ない ファイルの読み込みが遅い | microSDカードが破損している可能性があります。 ⇒新しいmicroSDカードに差し替えてください。 |
| 起動後、暫くが経ってから自動録画開始する | 前回利用時に最後に記録ファイルが破損した可能性があります。その場合には、本機はファイルを修復してから録画開始します。 |
| パソコンと接続して電源ONにしたが、認識/通信できない | USBポート電圧低下やケーブルが破損した可能性があります。 ⇒別のUSBポート、またはUSBケーブルを使用してください。 |
| 日時表示が違う | 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっています。 ⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから、日時を再設定してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命です。 |
| 動画再生で映像が飛んだりカクカクする | microSDカードのスピードクラスが足りていない可能性があります。 ⇒録画解像度設定を下げるかmicroSDカードを交換してください。 |
| 信号の色が記録されないことがある | 解像度の設定を「2K」と「1080P」に変更してください。解像度「2K」と「1080P」のみ、信号機同期しない対策がしています。※映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。 |
| ACアダプターがない | 本製品には充電用USBケーブルのみ同梱していますので、市販のACアダプター(定格5V/1A以下)のものをお使いください。 |

よくあるご質問

| ご質問 | 回 答 |
|--------------------------|---|
| スマートフォンと接続できない | <p>●録画中にWi-Fi接続しようとしていませんか？ ※本製品は録画中にWi-FiがOFFとなる仕様です。録画中はWi-Fi機能をONにはできません。 ボタン操作で録画を一時停止した後、スマートフォンとの接続をお試しください。</p> <p>●スマートフォンのWi-Fi機能はONになっていますか？ ●Wi-Fiが繋がりにくい場所で作業を行っていませんか？ ●スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？ ※本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。</p> |
| 録画中にWi-FiをONにしたい | <p>本製品は録画中にWi-FiがOFFとなる仕様です。録画中はWi-Fi機能をONにはできません。 Wi-FiをONにする場合は、必ずボタン操作で録画を一時停止してください。</p> |
| microSDカードがフォーマットできなくなった | <p>microSDカードを新品に交換してください。 ※microSDカードのNANDフラッシュメモリの素子が書き込み回数の上限に達すると、カード側にデータロック機能がないmicroSDHCおよびmicroSDXCであっても「書き込み禁止」の状態となり、フォーマットができなくなります。 SDカードの寿命といえますので、新品に交換が必要です。 ※microSDカードに起因する故障/損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p> |
| 使用中に本体/部品が脱落した | <p>ヘルメットまたは車両への取り付けが確実ではなかった可能性があります。 ⇒本体および各部品の脱落防止対策が不十分だった可能性があります。 ※本製品の各部品は、走行中に落下しないようにヘルメットまたは車両へ確実に取り付けをしてください。 また、本体および各部品の脱落防止対策は、全て使用者本人のリスク管理のもとで行なってください。 本体/部品の脱落や付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p> |

製品仕様

| | |
|-----------------|--|
| 本体サイズ | 約116×38×35 (mm) |
| 重量 | 約97(g) |
| 撮影素子 | 200万画素カラーCMOS |
| レンズ画角 | 水平:約117°、垂直:約60°、対角:約146° (EFL:3.26mm) |
| 動画画質 | 1440P (2560×1440) +1080P (1920×1080) @27.5fps 1080P (1920×1080) +1080P (1920×1080) @27.5fps 720P (1280×720) +720P (1280×720) @30fps VGA (640×480) +VGA (640×480) @30fps |
| Gセンサー | OFF/低/中/高 |
| 記録方式 | 常時録画 緊急録画 (常時録画中のファンタッチ映像保護) 緊急録画 (常時録画中のGセンサー衝撃検知映像保護) タイムラプス録画 |
| 録画ファイル構成 | 1分/3分/5分 |
| フレームレート | 27.5コマ/秒、30コマ/秒 |
| 静止画撮影 | 対応 |
| 音声録音 | ON/OFF |
| 映像ファイル形式 | 動画:「.MP4」/静止画:「.JPG」 |
| スマホ/タブレット端末再生方法 | 汎用スマホアプリ「RoadCam」 |
| 推奨PC再生ソフト | Windows Media Player / VLC Media Player |
| 防塵・防水等級 | IP64 |
| 内蔵バッテリー容量 | 1450mA |
| バッテリー稼働時間 | 約2.5時間 (最大約160分) |
| バッテリー充電時間 | 約3時間 |
| 入力端子 | microUSB端子 (電源供給:5V/1A) |
| 動作温度範囲 | -10℃ ~ 50℃ |
| 記録媒体 | 8GB~128GB microSDHC/SDXC対応 (Class10以上、初回ご利用時に本機でフォーマット必要) |
| 製品保証期間 | 1年 (消耗部品は除く) |

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

検索に製品番号の「BDVR-A001」を入力してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

| | |
|--------------|---------------------|
| 〈お客様氏名〉 様 | 〈故障内容〉※具体的にお書きください。 |
| 〈電話番号〉 | |
| 〈ご住所〉 | |
| 〈販売店〉 | 〈購入日〉 |

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

MAXWIN